

---

## 「心臓再同期療法の治療反応性によるフレイル評価への影響の検証」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2018年01月01日から2024年12月31日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター】を受診し、心不全と診断され、両心室ペースメーカー、除細動機能付き両心室ペースメーカーの植え込み術を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

本研究では、心不全の患者さんに頻繁に見受けられるフレイルという状態の継続的な評価結果が、両心室ペースメーカーの植え込み後の治療状況によってどのように変化するかを過去の記録からさかのぼって調査することを目的としています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025年12月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

診察時に評価した内容を利用します。具体的には、心臓エコー検査の結果やカルテ記載情報、リハビリテーション実施時に評価したフレイル評価の内容や遠隔モニタリングによって蓄積されている活動量のデータなどを利用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である水村 翔が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

心不全と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を利用します。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部 水村 翔（研究責任者）

### 4. 試料・情報の管理責任者

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部 水村 翔

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

電話：042-984-4367（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：心臓再同期療法の治療反応性によるフレイル評価への影響の検証

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部 水村 翔